

## みんなの「あったらいいな!」を叶える「子育てシェアタウン」

子育てシェアタウンでは、子育て世帯と、地域の方々などとの交流と互助の仕組みを作り、町全体で子育てを協力する（シェアする）町を作ります。

シェアタウンをより良いものとするため、ヒアリングや座談会を開催し、貴重なご意見をいただきましたので、その一部をご紹介します。

### 箱根の子育て ここが良い!

- ・少人数なので学校の先生が子どものことをしっかり見てくれる。
- ・自然豊かで、川や森で遊べるので自然の中で子育てができる。
- ・子育てサロンが楽しい。
- ・所得を問わず保育料が無償で、給食費も中学校まで無償なので、経済的負担が抑えられる。
- ・車で1時間圏内に楽しめるところがいっぱいある。

### 箱根の子育て あったらいいな!

- ・急に病院に行かないといけないときなど、子どもを預かってほしい時にサポートしてくれる人や、預かってくれる場所。
- ・コロナ禍でサロンの利用者が減っているの、保護者同士のつながり。



(湯本での座談会の様子)

これからも、子育て世帯の方々「あったらいいな!」の声を吸い上げて、子育てシェアタウンの取組をすすめていきます。交流イベントや町専用アプリの情報などは、広報はこね、回覧、町ホームページなどでお知らせします。

照会先 子育て支援課 ☎85-9595

## 箱根町『分離型』一貫教育のはなし

### 《箱根ミニマム・チャレンジ》

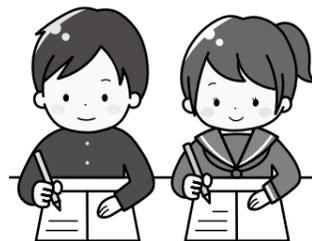
町では、児童・生徒一人ひとりの学力保障を重要課題としてとらえ、学校と教育委員会が一体となり、学力向上を図るための取組を行っています。

その取組の一つとして、学習を成立させる上での必須の基礎的な知識・技能である、漢字の書き取りや計算を「箱根ミニマム」とし、指導にあたっています。また、その学年において定着を図りたい学習事項を「チャレンジ」とし、その定着に向けても取り組んでいます。

「箱根ミニマム」は、小・中学校全学年が対象で、5月・10月・2月の年3回実施しており、例えば、中学1年生の漢字については、小学6年生で習った基本的な問題とし、また、計算では、前年度に習った基本的な問題にするなど、学習内容が定着しているかを確認しています。

「箱根チャレンジ」は、小学1年生ではひらがな・カタカナ、小学2年生ではかけ算九九、中学1年生では曜日・月・数の英語表記など、「学年ごとに最低限必要な知識として定着を図りたい内容」について、同様に実施しています。

これらの取組は、児童・生徒にとっては、学習内容の定着に役立つとともに、教職員にとっては、実施結果を踏まえて、指導方法の工夫・改善につながっています。



## 箱根土曜塾からのお知らせ No. 4

### ～「箱根土曜塾」で活躍する講師について～

箱根土曜塾では、受講生の学力に応じてグループ（5～6名）に分かれ、各グループの講師が受講生に合わせたプログラムにより、授業を行っています。今回と次回に分けて、箱根土曜塾で活躍する講師を紹介します。

- ①氏名 ②塾講師の経験年数（箱根土曜塾講師の経験年数）  
③（受講生・講師にとっての）箱根土曜塾の魅力 ④受講生へのメッセージ

①関本 雄大 ②4年目（2年目）

③先生との距離が近く、分からないところをすぐ聞いてすぐに解決できること。授業の進みも置いていかれることなく、わかるまで丁寧に何度も教えてくれる。また、受験勉強という点では、普段塾講師をしている先生故に、勉強の効率的な進め方や、押さえなければいけない場所をしっかり学ぶことができる。

④普段のコツコツ勉強した努力が受験で実るので、2月までまだあると油断せず一生懸命勉強しましょう!! 先生たちを有効に使って得意を伸ばし、苦手を克服したら怖いものなし!!



①松本 京子  
②2年目（1年目）  
③生徒との距離が近く、理解しているかどうかひとりひとり見れるところ。  
④一歩ずつ着実にのびていきます。一緒に頑張っていきましょう!



①廣瀬 亮  
②3年目（2年目）  
③少人数授業で生徒との距離が近く、ひとりひとりの理解度に合わせた授業を進められるところ。  
④合格に向けて一緒に頑張ろう!



①高橋 海音 ②2年目（2年目）

③生徒の皆さんにとっては、受験に対するモチベーション維持ができることです。学校ではなく、塾という「勉強する為の空間」を友達と共有することで、なかなかやる気の出ない受験勉強に向き合うことができると思います。僕にとっては、受験勉強を通して、多くの生徒とコミュニケーションを取ることができる部分にやりがいを感じます!

④受験まで残り数ヶ月! 不安な部分は沢山あるかもしれないし、早く高校生になりたい気持ちでいっぱいかもしれないけど、焦らずにコツコツ勉強しましょう! まだまだ伸びる!!!!



箱根土曜塾についての詳細は、学校教育課まで! (☎85-7600)



## 「家庭教育を考える」 ～地域でささえる・地域へつなぐ～

毎朝8時20分のチャイムが鳴り終わると学校が静寂に包まれます。生徒と教員と一緒に読書をする10分間の朝読書の時間です。朝読書は全国の多くの学校で行われていますが、いつ頃から始まったかご存じですか。1988年に千葉県の高校の先生が提唱し、全国に広まったそうです。もう30年以上も前のことになります。「みんなでやる・毎日やる・好きな本でよい・ただ読むだけ」という4原則で実施することが推奨されてきました。静寂の中で本を読むと、心が落ち着き、穏やかに一日が始まります。また、デジタルではなく紙の本に触れる貴重な機会にもなっています。

他にも朝の活動として、年に数回「箱根ストーリータイム」を実施しています。図書ボランティアのみなさんに、箱根についてのお話をいただいています。箱根のことを知る貴重な時間です。

少しずつ知識を増やして、箱根について語ることができる中学生になってほしいと願っています。



箱根中学校 ☎82-3000

照会先 教育委員会生涯学習課 ☎85-7601